

講習会実施者各位

「弓道石川」及びホームページへの記事投稿依頼

石川県弓道連盟

「弓道石川」編集長

日頃より石川県弓道連盟の各種広報活動にご協力を頂きましてありがとうございます。  
このたびの「〇〇講習会」開催にあたりまして、終了後投稿をお願いいたします。あわせて、ホームページの方にも、掲載してよろしいでしょうか。「弓道石川」だけを希望される方は、お申し出頂きたいと思えます。  
何卒、お忙しい中とは存じますが、よろしく願いいたします。  
なお、「弓道石川」発行予定は、毎年、5月下旬、8月下旬、11月中旬、2月下旬を予定いたしております。

記

### 1、投稿形式

形式にはこだわりませんが、講習会の場合は様式を決めた方が書きやすいとの声もありますので、

ひな形として様式を添付いたします。

### 2、写真等

- ・講習状況が分かるもの数枚。
- ・講師の模範演技等

編集スペースに合わせて、これらの中から、選択させていただきます。

### 3、投稿時期

講習会終了10日程度で頂けると、嬉しく思っております。

講習会模様報告様式（ひな形）

『〇〇講習会模様』

指 導 部

石川 太郎

平成〇〇年〇月〇日〇〇講習会が開催されました。

日 時：平成〇〇年〇月〇日〇〇 9時～16時まで

場 所：〇〇市〇〇弓道場

講 師：〇〇 〇〇先生（〇士〇段）（主任）

〇〇 〇〇先生（〇士〇段）

受講生：各支部協会の代表者と称号保有者合計〇〇名

講習内容（例）

- ・開講前に受講生の〇〇さんによるストレッチ体操が行われた。
- ・開講式では、県連〇会長〇〇先生のごあいさつの後、講師の紹介、主任講師の〇〇先生のご挨拶と、日程説明があった。
- ・「礼記射技」「射法訓」の唱和は受講生の〇〇さんの先導で行われた。
- ・矢渡し 射手、主任講師の〇〇先生、介添え受講生の〇〇さん（第一）〇〇さん（第二）で矢渡し。

終了後、受講生の講評、講師の総評で留意点を確認し合った。

- ・射礼研修

審査の間合い（四段以下）

持ち的射礼（五段・錬五）

一つの射礼（錬六以上）

特に、入・退場、歩き方・礼などの基本的な体配を、再チェック。できているつもりでも指導される人が多くみられた。

・昼食後講師の〇〇先生と〇〇先生の一つの射礼の演武があった。

・上級講習会の研修内容の説明及び質疑応答

特に〇〇について・・・・・・・・

質疑では、〇〇についての質問があり、〇〇との回答が講師の方からあった。

・介添え研修

3、4人のグループ分けをして、で第一・第二介添えの所作研修を実施

その後、受講生の中から射手〇〇さん第一介添え〇〇さん、第二介添え〇〇さんで実際に矢渡しを実施した。

研修直後でも、実際にやるとできないことも多く、日頃からの練習が大事だと実感した。

・射技研修

本座で肌脱ぎ、襷掛けの後、一手坐射を実施。講師の先生からは〇〇を中心に指導がなされた。

天候に恵まれ、爽やかな天候の元、受講生一同快い汗をかきながら、講習会を終了した。

送付先：石川県弓道連盟 広報部宛

メールアドレス [ishikawaken-kyudorenmei-kouhou@kyudo-ishikawa.com](mailto:ishikawaken-kyudorenmei-kouhou@kyudo-ishikawa.com)